

# スクープハーネス取扱説明書

## 各部名称



## 装着

上記の様に、スクープハーネスを装着し前部のチェストラップ、後部のディバイダー及びアジャスターバックルで調整が行えます。

脇の下のストラップが適度に余裕がある程度（こぶし2個～3個程度）にします。

## 使用範囲

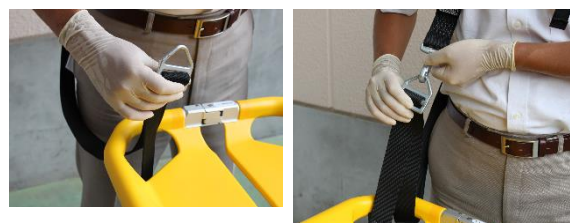
スクープハーネスは、Vリングを担架の持ち手の下から通してスナップバックルに取り付けることができる担架等に使用可能です。ファーノ社のストレッチャーでは、モデル 4155、12-9、11、12、107シリーズ、71シリーズ、タイタン、2010バックボード、44レスキューシートなどに使用できます。

## 担架への取り付け

- 1) Vリングをスナップバックルに取り付けた状態でウェビングのループになっている部分の長さが担架を持つ場合の手のあたりになるように長さを調整しておきます。



- 2) Vリングを外し、ストレッチャーの持ち手の下から通し、スナップバックルに取り付けます。

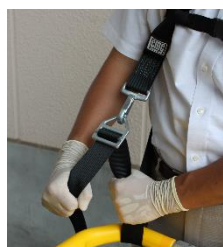


- 3) 取り付け後、一度空の状態ですぐ担架を持ち上げ、前後、左右の傾きの修正が必要であればウェビングの長さの調整を行います。



- 4) 長さの調整が終わりましたら、Vリングをスナップバックルより外し、傷病者（患者）を担架に乗せ、2) の様に取り付けて使用します。
- 5) 傷病者（患者）を乗せて持ち上げた後、ウェビングの長さの微調整が必要な場合、短くする場合は、ウェビングを持ち上げて片方の手で送り出し、もう片方の手で引き下げて短くします。長くする場合は、片方の手でウェビングを持ち、もう片方の手でVリングの下部をやや持ち上げてウェビングをスライドさせて長くします。

大幅で急な長さの変更は、不安定な状態を引き起こしますのでお止めください



短くする場合



長くする場合

\* 上記は、スクープエクセルを例にしておりますが、他の担架なども同様の手順で行います。

## 搬 送

- 通常は向かい合う形で搬送を行います。
- 状況によって二人とも進行方向を向いて搬送することができます。
- 状況によってはドアなど開けるため持ち手より手をはなすことも可能です。



## 使用上の注意事項

- 状況によって手をフリーの状態にしてご使用になれますが、手をフリーの状態にする場合は気をつけて行ってください。
- 状況によって2名とも進行方向を向いて搬送を行う場合、傷病者（患者）の状態が見えませんが、1名は傷病者（患者）の状態を十分に把握してください。また、特に進行方向を向いている救助者（搬送者）はバランス等に十分気をつけてください。
- その他、搬送に関しては、担架の取扱い説明書をよくお読みください。

ファーノ・ジャパン・インク 日本支社  
東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル4F  
TEL03-5820-4649 FAX03-5820-4669

2012.09